

5月の授業風景より

5月21日(木)から学校が再開し、ようやく伊里中学校に活気が戻ってきました。今回は2年生の授業風景を紹介します。授業を参観したのは、国語と英語です。

国語は、「アイスプラネット」という題材で「ぐうちゃんに対する僕の思いを読み取る」という目標でした。和やかな雰囲気の中で授業が進められ、発表する生徒も自分の考えをしっかりと発表していました。これは今年度、授業を通して生徒たちに身につけさせたい力の一つです。

昨年の岡山県学力学習状況調査の結果をみると、「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しい」と答えた生徒は、2年生が70.3%、3年生が62.8%でした。今年度は、この割合が少なくなるように授業を通して、説明したり、文章に書いたりする力を養っていきたいと思います。

英語は、今後の学びに向けて、「英語ワイドノートの使い方と提出」についてのガイダンスと予習課題である単語の確認を行っていました。生徒たちのノートを見るときちんと予習課題の単語がまとめられていました。また、近づきすぎないようにペアで単語の読み練習を互いに協力して行っていました。



久しぶりの給食 ごちそうさまでした!

今週から約1か月ぶりに給食が再開されました。

給食当番は、エプロン、帽子、マスクを着用し、衛生面に気をつけながら協力して配膳をしていました。また、給食準備中、給食当番以外の生徒はきちんと廊下で待機できていました。

コロナ以降、班でおしゃべりしながら給食を食べることはできませんが、久しぶりにおいしい給食をいただくことができました。

